

令和5年度 第3回学校運営協議会（学校魅力強化委員会）議事録

1. 期日：令和5年9月20日（水）15：00～17：00
2. 場所：有田工業高校 会議室（管理棟1階）
3. 参加者：校長を含む委員10名（欠席3名）
事務局12名（本校職員）
県教育委員会事務局2名（教育振興課）
傍聴者1名
4. 会次第及び議事録
 - (1) 開 会
 - (2) 学校長挨拶
 - (3) 佐賀県教育委員会事務局挨拶（教育振興課指導主事）
 - (4) 議事
 - 第1回・第2回運営協議会での協議内容の実現等について
 - ① 学校開放について
 - ・10月16日（月）～20日（金）に学校公開を行うことを計画中。
 - ・保護者だけでなく一般の方も対象。
 - 質問：小中学生対象の学校公開について。
回答（事務局）：7月の体験入学（中学生対象）、小学生対象はセラミック科が行った陶芸交流事業、11月に開催する文化祭は土日開催のため、小中学生も参加しやすいと考えている。
 - 質問：他校で広まっている感染症への対策について。
回答（校長）：現在のところ、本校内では心配するような状況ではないため、予定通り開催する予定であるが、感染状況を見ながら行いたい。
 - ② 有工検定について
 - ・「佐賀のことを学ぶ時間」を利用して検定問題のテキストを使った学習を行い、全学年で検定を行うことが考えられる。
 - ・この際、地域の皆さんに問題を提供していただくということも行えば、地域との連携にもなり得る。
 1. 質問：具体的な内容については検討段階と考えてよいか。
回答（事務局）：現時点では「佐賀のことを学ぶ時間」はすでに計画がたっているため、次年度に新たに計画を立てていきたい。
回答（校長）：『有工検定』は有田に関する問題がたくさん掲載されている冊子を用いて勉強し、検定を受検する形になっている。卒業後も有田のことを忘れないでいてほしいという思いから、3年生の卒業前に行っているが、在学中にも有田の良さなどを知ってもらえないかと考え、早くからすることを考えている。今後の機会をとらえて、新たな問題や中にある問題の改定について、委員の皆様にご協力をお願いしたい。

- ③ 地域内の知り合いづくりや地域交流イベントについて
- ・毎年3月に行っている『地域学習』で、1・2年生がまち歩きをするが、この時に町の団体などと連携して行うことはできないか。
 - 意見：観光協会にはガイドがおり、このガイドをぜひ活用してほしい。
 - 質問：地域学習の場所が上有田に集中しているようだ。西有田やアリタセラなど色々と魅力ある場所があるので、他の場所にも広げてみてはどうか。
 - 回答（事務局）：これまでは「歩ける範囲」で学習場所が決まっていた。場所を広げる場合には移動手段の問題が生じる。
 - 質問：町に協力を依頼することはできないか。例えば町所有のバスを活用することは考えられないか。
 - 回答（事務局）：運転の問題があるのではないか。生徒の安全を考えると、プロの運転手をお願いすることになったりするため、予算の問題も生じる。
 - 意見（町）：町の方でバスが利用できないか、持ち帰って検討してみる。
- ④ 町のイベント時のボランティア活動について
- ・学校行事等として全員で動くことは日程的にも難しいと考えられる。まずはインターアクトクラブ+有志で行うことが考えられる。
 - 意見（観光協会）：秋の陶磁器まつりでのボランティア等については今後学校と打ち合わせたい。
 - 意見：インターアクトクラブが子ども食堂に参加しており、100名ほどの参加があった。地域貢献活動としてお知らせします。
 - 意見：佐賀大学では「有田の磨き上げ」として、有田の文化的資産を地域の人たちと「磨く」ことを計画した。新型コロナウイルス感染症のために計画は止まってしまったが、ゴミ拾いだけではなく様々な方法があるのではないか。
- ⑤ 「地域みらい留学」への認知度を上げる工夫について
- ・ポスターや横断幕の設置を有田駅に問い合わせたところ B1 サイズのポスターの設置費用が約5,000円/週であった。秋の陶磁器まつりの時に駅に貼ることなどを検討している。チラシを駅に置くことは無料で大丈夫とのことだった。
 - ・他の場所に設置するとすれば、どこかいいところがないか、情報が欲しい。
 - 意見：期間限定でポスターを設置し、チラシは常時置くという作戦はよいと思う。地域の回覧板のコマーシャル欄を買い取るのはどうか。
 - 意見（町）：回覧板については検討できるかと思う。
 - 意見：有田駅の近くのお店をお願いする方法はあると思う。商店街にお願いしてみても。KILNARITA（有田駅前観光案内所）なども頼めば大丈夫ではないか。観光協会の伝統文化の交流プラザ「有田館」は協力できる。

⑥ 「たまり場」的な場所について

- ・デザイン科の課題研究で近いテーマを扱っているようだ。
- 質問：佐賀大学でも似たような取り組みがあっているのではないかと。
- 意見：例えば佐賀市内で佐賀大学の学生と NPO が連携して勉強や仕事ができるスペースを運営している。学生が経営して NPO がサポートするという形態は増えてきている。学生だけでなく企業の方も入ってきて様々な意見交換が自然とできる場になっている。
- 意見：佐賀大学も巻き込んで有田に似たような場を作ることは考えられないか。
- 質問：KILNARITA にそうなってほしいという思いがあったが、テナントに入っているお店が入っては出てを繰り返している。現状はどうなっているのか。
- 意見：有田のまちづくり公社さんが運営している。以前パン屋さんが入っていたが、現在は空き店舗でテナント募集中になっている。
- 意見：経営者が出てしまうと、後は当然空きになってしまうが、学生の場合は先輩から後輩に引き継ぐため、比較的長期間継続して経営できている。高校生だけでは難しいかもしれないが、大学と連携すれば何かできるかもしれない。
- 意見：武雄でいうと、図書館がたまり場になっている。本も読めてカフェもあり、おしゃれな雰囲気がある。有田もこのミニチュア版みたいな場所があればよいが。
- 意見：KILNARITA を有工生で部活動を作って運営するというのはどうか。高校生なので安全面や時間などをきちんと管理すれば可能なのではないかと。そうすれば有工の情報発信源としても使えるし、小中学生や町の人との交流の場としても使える。
- 意見：そもそも今の高校生は外に出ない。家の中で SNS などスマホをいじっている時間がほとんどになっている。交流スペースとして考えられるのは学校の行き帰りのルート以外では難しいのではないかと。駅の近くであれば可能性としてあるかもしれない。コミュニケーションの多くが SNS となっているため、対面での交流は大切だ。

⑦ 地域みらい留学生の食の問題について

- ・今後の説明・報告事項の地域みらい留学の現状について詳しく報告する。

(5) 説明・報告事項

① 地域みらい留学の現状について

1. 令和6年度入学生に向けた説明会等について

- ・令和6年度の入学生について、合同説明会やオープンスクールの日程を紹介した。
- ・平日夜の合同説明会が新たに企画されており、2回参加する予定。
- ・9月23日（土）、24日（日）に行われる東京での対面説明会は4名の予約となっている。
- ・10月21日（土）、22日（日）に行う秋のオープンスクールは3名の予約となっている。
- ・今のところ昨年度ほどの入学者は期待できないが、数人は受検してくれる手ごたえを感じている。

2. 令和6年度の留学生受け入れ態勢について

- ・現時点では3～4名の受け入れを確保している。
- ・空き家を利用したシェアハウス2棟及びアパート等の改修補助を県と町の9月補正予算に計上し、議会に上程。
- ・見守り人（ハウスマスター）についても9月の補正予算に計上中。議会を通過すれば10月～11月ころから見守りが始まるのではないかと。
- ・シェアハウスでは、平日に夕食を提供できるよう運営事業者において検討中で、令和6年度から実施されるのではないかと。

○ 質問：予算については、年度更新についていくのか。

回答（県教委）：毎年予算要求は行っていくつもりである。現在議会中なので、議会が終わったところで詳しい報告はしたいと思う。

○ 質問：有田工業が初めての例か。

回答（県教委）：そうである。

- 意見：そうなる大切なケースであるから他の高校にも広まるように予算取りを頑張ってもらいたい。また見守り人はとても大切だと思うので、予算面でも強く要求して欲しい。継続することが大切なので、県の方に頑張ってもらいたい。

3. 飲食協力店ステッカーについて

- ・ステッカーは完成し、今後協力店を回りながら店舗に貼ることを依頼していく。
- ・以前は生徒を使ってステッカーの配付と協力内容の取材を考えていたが、時期的に定期考査や体育祭の準備と重なってしまったため、早く配付することを優先して、生徒と一緒に回ることは生徒に余裕ができてからと考えている。
- ・料飲店協会以外の協力店については協力店を広げたいという思いはあるが、初めに声をかけて快諾頂いた料飲店組合が優先である。広げるためには料飲店組合に加入されていない方にも声をかけてよいかの許可を得てからと考えている。

4. 令和5年度留学生の支援金について

- ・半期に一度の支援金申請の提出期限が9月30日であるため、留学生及び保護者に案内中。
- ・学校記入欄があるため学校で取りまとめて町に提出予定。
- ・半年毎ということで保護者や留学生も失念するかもしれないため、学校からも声掛けを行いたい。

② 地域との連携事業について

- ・新たな連携依頼（さが創生推進課、内山地区のクリスマスイベント、伊万里実業高校とのコラボレーション）があっている。
- ・生徒及び職員のマンパワーの問題があり、現時点ですべての依頼に対して受けられる状況ではない。

③ その他の意見

- 質問：地域みらい留学関連の学校での取組についての情報発信を充実させるために、ホームページは安価でよいメディアだと思うが、現在、地域みらい留学に関する学校の取組にアクセスしづらい。改善の方策はないか。

回答（事務局）：事務局としても気にしているところで、近日中に改善を図りたい。

- ・地域みらい留学以外の県外からの生徒募集について、佐世保地区の中学校訪問の状況及び、九州内の窯元のある教育委員会や中学校への訪問について報告を行った。

(6) 研修

スクールミッション及びスクールポリシー・グランドデザインについて
（学校魅力強化アドバイザーより）

(7) 諸連絡 次回は、10月中旬～11初旬に開催予定

(8) 閉 会